

## 保健福祉委員会

### ■子育て支援の現状と拡充

本委員会は、富良野市次世代育成支援地域行動計画のうち、基本施策、地域における子育て支援サービスの充実及び子育て支援のネットワークづくりの2点7項目について調査しました。

担当部局からは、子育て支援に対し「育ちの場として家庭を大切にすることを前提に、将来の社会の担い手として子どもの育ちを見守り、社会全体で支援していくことが必要」との基本的な考え方を確認しました。

さらに委員会では、事業のふ



子育て支援風景（ひよっこサロン）

れあいサロンを含め5箇所を視察し、多くの保護者の方々と意見交換を行いました。内容としては、屋外の遊び場、開設日数、時間の拡充など多くの意見を聞くことができました。

委員会としては、本支援の現状、保護者との意見交換、都市事例調査の結果を踏まえ、3点の意見の一致をみました。

①屋外の遊び場の整備は、親子同士の出会いと、異世代との交流で人間性を豊かにする。

②親子同士の交流促進、育児での不安感や孤立感の解消の場として、支援事業やサロンの充実と更なる利用の拡充が必要。

③従前は幼児クラブとして市内に8カ所あったが、現在は3カ所しかなく更なる拡充が必要。

本委員会では以上の3点の意見に議論が集中しました。

調査を通じ、少子高齢化、核家族化の現在、相手への思いやりや心遣いが求められる中で、高齢者を含めた世代間交流は人格形成の一助となり、子育ては人が成長するための出発点でもあり、心が通い満足感の持てる子育て支援を望みます。

## 保健福祉(都市事例調査)

本委員会は子育て支援について、次の3市を調査しました。

### ○富山県射水市

射水市は、合併を契機に当時の市長が掲げた、「子育てするなら射水市」のキャッチフレーズで、各種の子育て支援に取り組んでいる。特に子ども相談室あんしんルームにおいて子ども心理面に配慮した事業を行っている。経済的支援としては入園費の支援、不妊治療に対する助成などがあり、また、つどいの広場を開設し、親同士の交流を通じ子育てに対する不安軽減策を精力的に取り組んでいる。

### ○東京都多摩市

多摩市では、子育て総合センターたまたつこを立ち上げ、NPO、大学、行政が協力的体制を構築している。家族や親族から支援が受けられない時には、サポートターが派遣され、また、子ども家庭支援センター事業では児童虐待防止対策窓口として、広く市民に通報を呼び掛けている。リフレッシュ一時保育事業は、



射水市視察

通常の子育て支援とは違い、母親にくつろぐ時間を提供する支援として定着しており、さらに子育てひろば事業は、登録制で市民以外の利用も可能であり、行政と受託者との連携が十分とされている。

### ○千葉県野田市

野田市では、子育て支援総合コーディネート事業を立ち上げ、民間業者との調整や情報などサービスの提供が一元化されている。訪問型一時保育事業は、子育ての不安解消、親の孤立や虐待防止等を目的に家庭訪問し配慮している。また、現状把握調査を行い支援継続の要否や他制度の有無などもフォローし心の通う支援を行っている。